

## 令和4年度 学校評価 自己評価 職員用 集計

### <教科等の学習指導>

内容	A	B	C	D
① 授業のユニバーサルデザイン化の視点にたち、ねらいを明確に示すとともに振り返りの時間を確保できた。	3	11	2	0
② MINATOカリキュラムを活用し、基礎・基本の確実な定着を図る指導を行うとともに、発展的な学習を計画的・段階的に取り入れることができた。	2	11	3	0
③ 課題の発見と解決に向けて個別最適な学びと協働的な学びを計画的に取り入れ、教科等横断的な視点から単元指導計画等を作成することができたか。	2	10	4	0
④ タブレット端末やICT機器を活用した個別学習やグループ学習等、指導方法を工夫し資質・能力の向上を図ることができた。	7	6	2	1
⑤ 生徒理解に基づき、学習意欲を高めるとともに、学習規律を徹底し、自ら学ぶ力を養うことができたか。	6	8	2	0
⑥ 家庭学習の定着を図り一人ひとりの能力を伸ばすことができたか。	2	8	5	1

### <評価>

内容	A	B	C	D
① 単元や題材などの内容やまとまりを見通しながら評価の場面を工夫し、学習の課題や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上につなげることができた。(指導と評価の一体化)	2	12	2	0
② 生徒の学習活動としての相互評価や自己評価なども工夫し、生徒の学習意欲の向上を図ることができたか。	3	9	3	1
③ 指導と評価の一体化を図る中で、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等多面的・多角的な評価を行うことができたか。	3	9	3	1

### <道徳>

内容	A	B	C	D
① 道徳の時間を計画的に実施し、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習に取り組めた。	5	9	2	0
② 「考え議論する道徳」の実践を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育て道徳性を養わせることができた。	5	8	2	1
③ 道徳(実施、各学年の指導、内容、地区公開講座等)について適切でしたか。	4	11	1	0
④ 道徳全体計画・年間計画は適切でしたか。	5	10	1	0
⑤ 道徳の別業は適切であり活用できましたか。	3	8	5	0

### <特別活動>

内容	A	B	C	D
① 各教科等で育まれた資質・能力を実践的な集団活動を通して、総合的で汎用的な力に変え、実生活で活用できるようにすることができた。	4	8	4	0
② 学校行事において、集団生活の意義を理解させ、集団の一員としての連帯感を高めるとともに、節度ある行動がとれる生徒を育成することができたか。	6	8	2	0
③ 学級活動、生徒会活動、学校行事等を通じ生徒が自主的に活動する機会や体験活動を充実させ、自主性や自発性の発達を促すことができたか。	5	9	2	0
④ 美術館及び玉川大学と連携した取り組みは、優れた作品に触れて感動したり、創造する喜びを感じたりする豊かな心を育て、芸術を通して思考力・判断力・表現力を高めることができた。	6	9	0	1

### <総合的な学習の時間>

内容	A	B	C	D
① 多様な学習形態を取り入れ、教科横断的な視点から各教科等で身に付けた知識や技能を相互に活用し、身近な課題や興味・関心に基づく課題研究により、自己を見つめ、自己の生き方に活かす態度を養うことができたか。	3	9	4	0
② 環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動を通して、課題発見・課題解決力を育成することができた。	2	10	4	0
③ 総合の全体計画・年間指導計画・各学年の指導・内容等については適切でしたか。	3	12	1	0

### <学校2020レガシー>

内容	A	B	C	D
① 各教科、特別活動や総合的な学習の時間を中心に、ボランティア・マインド、障害者理解、豊かな国際感覚の育成に取り組むことができた。	2	10	3	1

### <環境教育>

内容	A	B	C	D
① 「青山中まるごとSDGs」達成にむけ各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動等においてSDGsに関連する学習を計画的に実施することができた。	2	12	0	0

<国際理解教育>

	内容	A	B	C	D
①	英語国際や特別活動及び総合的な学習の時間をとおして、日本の伝統文化や他国の文化に正しい知識をもちそれらを尊重する態度やコミュニケーション能力の育成に努めることができた。	1	12	2	1

<特別支援教育>

	内容	A	B	C	D
①	特別支援教育コーディネーターを中心に特別支援教育委員会を定期開催し、巡回指導教員、特別支援専門委員、スクールカウンセラー、学習支援員、介助員と学年等との連携を密にし、個々の能力や特性を伸ばすことができるよう特別支教育の充実を図ることができた。	5	8	3	0
②	個に応じた指導を徹底し個々の能力の向上を図るとともに、友達の良さを認めるなど温かい人間関係を構築することができた。	6	7	3	0

<言語能力の育成>

	内容	A	B	C	D
①	各教科等で話し合い活動や議論する活動、レポート作成等、学年の発達段階に応じた言語活動の充実を図ることができた。	2	12	2	0
②	毎朝10分間の朝読書を含む読書活動の推進を図り、本を読む習慣を身に付けさせるとともに読書の楽しさを味わわせることができた。	6	7	2	1
③	読書への関心・意欲を高めるため学校司書と連携し、生徒の発達段階や興味・関心に合わせた本の紹介、貸出を行うことができたか。	5	4	6	1

<情報活用能力>

	内容	A	B	C	D
①	タブレット端末等を用いて得た情報を取捨選択し、自分のものとして生かしたり、得た情報を加工したりして他者に向けて発信するなど、情報モラルについても理解し、情報活用能力を育てることができたか	1	10	5	0